

ヒルよけスプレー6月登場

生徒の企画実現

環境に優しく児童も安心

秋田県立金足農高

【秋田】県立金足農業高校の女子生徒らが企画、開発した吸血ヒルよけスプレー「ダウンヒル」が6月1日にデビューする。靴や服に吹き付ければ、ヒルがはい上がってこなくなる効果が期待できる。極端な冷たさや温かさに弱いヒルの習性を生かし、清涼感のある「リーメントール」と、その効果を増幅させるサリチル酸の一種を使用し

た。環境に優しい成分を使っているため子どもにも安心して使用でき、効果も高いという。

同商品は2009年に

当時同校1年生だった加藤愛咲さん(21)や当時の担当教員で、現在は民間非営利団体(NPO)ヤマビルプロジェクト代表の田中大介さんらが、ヤマビル被害で離農する農家もいる現実を知って研究を始めた。13年に

「有害生物防除剤及びその使用方法」で特許を取得し、秋田市の香水専門店「パレアンヌ」が商品化した。

開発に携わった加藤さんは「ヤマビルの問題を多くの人に知ってもらい、このスプレーで吸血被害や生息域の拡大を防いでほしい」とアピールする。

生息分布は北海道と青森を除く日本全域。本来ヤマビルは山奥に生息していたが、最近ではキャンプ場などから観光客がヒルを持ち帰ってしまうことから住宅街でも被害が出ているという。

問い合わせは同店、電話018(874)9888
3。価格は50ミリ入りで1350円。同店のホームページでも購入ができる。



ヤマビルをよけるスプレーを開発した加藤さん(29日、秋田市で)